



The Jimin NEWS

平成 29 年 7 月 14 日 (金) Liberal Democratic Party of Japan

福岡、大分豪雨災害 復旧・復興に全力



「避難所において、被災者の方から不安なお気持ちや、大変なご苦労について直接お話しを伺いました。政府一丸となって現場主義を徹底し、被災者のニーズに沿った生活支援に全力を尽くします」(安倍総理)

安倍総理は 12 日、九州北部に甚大な被害をもたらした豪雨災害の状況を視察するため、大分県、福岡県の災害現場や避難所などを訪問しました。甚大な被害を目の当たりにし、「激甚災害指定を一刻も早く行いたい。国、自治体が一緒になって、最短で作業を進める」と早期の復旧・復興に全力で取り組む考えを示しました。

一日も早く安心して暮らせる生活を取り戻す。

大分県日田市では、橋梁 (JR 久大線) が崩壊した現場の視察と、大分県知事や自治体関係者らとの意見交換に臨みました。また、市内に設置された避難所を訪れ、避難生活を余儀なくされている方々を見舞うとともに、一日も早く安心して暮らせる生活を取り戻す決意を伝えました。

同日午後には福岡県入りし、東峰村役場や朝倉市役所で福岡県知事や市長、村長らから被害状況や復旧状況などの説明を受けました。

安倍総理は、引き続き、救命・救助に加え、被災者の生活支援・再建に全力を挙げる方針を示しました。



写真：朝倉市内（福岡県）で黙とうを捧げる安倍総理

**自民党は発災直後に「平成 29 年 7 月九州北部大雨災害対策本部」を設置。
16 日には、二階俊博幹事長を団長とする視察団を派遣するなど、
被害状況の全容把握と、一刻も早い復旧・復興に向け、政府と一体となって
取り組んでいます。**

